

本邦沿岸稀れに見る 理想の江名漁港

約八ヶ年卅餘萬圓の巨費 事業中に躍る功勞の人々 沿革と工事の概要

江名漁港は前後八ヶ年の歳月と三十餘萬圓の巨費を投じて、竣工したので九日前十時より盛大な竣工式を挙げる事となつた。同港の沿革並に起工後より竣工に至るまでの経過は略左の如くにして其の概略を前町長故中山元治、漁業組合長中田政吉、現町長河野嘉蔵諸氏は勿論前代議員にして現職頭取白井博之、代議員木村清治（當時縣議）中野浩忠、鈴木辰三郎、井上茂作、小野晋平、古川博一、草野順平の各前、現職諸氏の熱心な努力の賜である。（以下は河野町長が竣工式當日の式辭の一節にしてこれによつて本工事の概要を知る事が出来る）



故中山元治氏

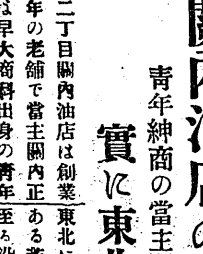
江名漁港竣工に最功勞あり組合長として中田政吉君が、前町長故中山元治君より若輩率直眞摯公共上一つて本縣に陳情書を提出し爾後數次之れを繼續し幾多の迂曲曲折を経過し其の最終に於ては、先般後援を期して公明細に其内容を審査せられたる結果幸ひに其曙光を認め、於此平野の町に於ては、九月廿六日の決議を経て同日附を以て正式に江名漁港建設費補助申請書を本縣に提出し、大正七年三月三十一日之れが指令に接したるを以て大正十年六月一日起工し、

日夜奮勵 工事を進行 四月十日を以て遠算なく之れを竣工するを得たり之れを第一期工事とし其經費如左 第一期工事十八萬四千四百圓 第二期工事十八萬四千四百圓 第三期工事十八萬四千四百圓 計五十四萬二千八百圓



河野町長

功勞を觀るを得たる 功勞を觀るを得たる 功勞を觀るを得たる



中田組長

青年紳商の當主關内氏 實に東北の豪商 關内油店の信用 實に東北の豪商

幾多の人物逸材 江名信用組合は本縣の雄 吉田正雄氏の聲望

堅實と信用の誇 警城銀行名支店 同地唯一の金融機關

伊東知事來平 中村部長初巡視 江名築港祝賀式に臨席の爲め伊東知事は八日午後一時平野着列車で來平住吉屋本店に投宿したが更に中村警務部長は管内初巡視の爲め八日午後七時平野着列車で來平、植田兩警署の初巡視をなす等

川前大橋 有志陳情協議 石城郡川前村前村から府縣道建設に關する川前大橋は大正十四年府縣道に編入されて以來同橋は橋脚の老朽して橋板は十數ヶ所が朽ち落ち又は大きな穴が出来たる同橋は川前村の最要門として近時自動車馬車等の交通頻繁な地點に當つてゐる夜間の交通も小學生等に誤つて墜落するものも少なく大變な問題になる然るにこれに對しては川前村長は、

古河鑛業株式會社 好間鑛業所 所長 下野 十朗 課長 湊谷 定次郎

磐城炭礦株式會社 所長 菅原 萬次郎

入山採炭株式會社 所長 漆野 佐市郎 部長 吉田 宗雄

小田炭礦株式會社 社長 萩原 申八

石炭と「コークス」 煙ノ少ナイ夏向キノ理想的石炭トコークスニ灰ノ少ナイ夏向キノ理想的石炭トコークスニ物ハ試メシニ使御使ヘ下サイ一度使ヘバ非ズ品物ガ証明致シマスカラ品質本位ノ上等石炭 正味十貫目 金六十五錢

阿部石炭商店 平野前 電話二三七番 直ぐ配達致シマス

日英米佛獨專賣特許 ヤマト醬油株式會社 社長 白井 一郎 專務 遠藤 俊一郎 電話平七四一 江名一七

東北請負業界に 江口氏の活躍 完成工事の概要

江名濱漁港竣工式當日功勞を著したる河野町長より、向年十二月工兵第十二大隊平町堀江工業株式會社江口忠一氏に請負業界の覇者と兵曹長に被任し官適任證として東北、北海道遠く關西、等功七級を賜はり方面にまで雄飛し幾多の大工事は記録的成功を収め、月より四月十四日まで世田谷砲兵隊、海軍省水路基礎を確立し破竹の勢、大正元年より五年まで鎮守府の請負に於けるが、斯界に於ける海軍省水路基礎工事、朝鮮建築の氏を以て、明治三會社釜山鎮埋築工事に従事十年より卅一年六月まで佐々木堂の堂奥を極め大正六世保衛守府船塢築造工事現年平町堀江工業株式會社場監督に従事したるを初々創し今に及むたのである



江口忠一氏

同氏の請負に成る各地の工事種類並に金額は左の如くである（但し二萬圓以下の工事を要す）

一、橋梁道路治水（縣廳） 金六萬五千九百圓

一、同新井田護岸（同上） 金十二萬二千圓

一、函館市圖書館（函館） 金六萬五千圓

一、飯豊小學校（相馬） 金七萬圓

一、飯豊小學校（相馬） 金七萬圓

一、同二期工事（四倉） 金八萬六千五百圓

一、同二期工事（四倉） 金八萬六千五百圓

一、同二期工事（四倉） 金八萬六千五百圓

一、同二期工事（四倉） 金八萬六千五百圓

一、同二期工事（四倉） 金八萬六千五百圓

一、同二期工事（四倉） 金八萬六千五百圓

一、同二期工事（四倉） 金八萬六千五百圓

一、同二期工事（四倉） 金八萬六千五百圓

父少佐の無情に泣く 憐れ母一人に兒一人

切めて愛兒を人並に育てたい 前非を悔ゆる二十女

中警察署人相談所に七日 だけせめて人並に育てたいと...

鯉群來たるの報に 各濱漸く色めく

緊張した活氣横溢

石城郡各濱に於ける漁船は捕獲した漁獲は豊潤神...

鮮人の怪死体に 自殺の疑ひ起る

事件は稍々明瞭

石城郡渡邊村大字田邊村人として取扱はれたが...

實地速進

米穀商組合

石城郡地方はメートル法實施促進會の發足を...

好問の賭博

平署で取調中

石城郡植田町生れ好問村大字野上野原村中由之助...

實地速進

米穀商組合

石城郡地方はメートル法實施促進會の發足を...

好問の賭博

平署で取調中

石城郡植田町生れ好問村大字野上野原村中由之助...

石門を寄附

金成家慶事

石城郡好問村消防組頭叶多組頭美事...

駄品を壓倒して ヤマト醬油好評

遠藤氏の新發明

世界各國專賣權を得た 遠藤氏の新發明...

記念碑除幕

昨日八日舉行

石城郡江名町名町の天才發明の新發明の醬油...

祝植田支局開設

植田町々會議員

小川 福太郎 鷲 清安 鷲 安之助 大平 千秋 小野 忠衛...

警女旅行通信 (第一信) 第三号...

警女旅行通信 (第二信)...

警女旅行通信 (第三信)...

警女旅行通信 (第四信)...

食用鳩 (カルルキ) カルカインコ...

靴製造 深谷靴店...

瓶詰販賣開始 一升瓶詰 一圓二十錢...

園に閉る男達

(82) 高田 派川作
尾崎 雪麿

小兵衛敬次の二人は面目
なげに首をなだれてゐた
「イヤ段々さういふ
「イヤ段々さういふ
「イヤ段々さういふ

「イヤ段々さういふ
「イヤ段々さういふ
「イヤ段々さういふ



心を改めた言葉通りい
しやすから何分もおゆる
しを願ひます」

小兵衛は裏心から改心
情を見せた

敬次もひたすらその罪を
謝した

「イヤよく申してくれ
にも申す如く過を改むる
にせよ小兵衛 敬次は藤兵衛

は善にも強しそで兩人
の善はさういふことには
せぬ家の木更津藤兵衛と

兄弟の益をいだし藤兵衛
兄弟の益をいだし藤兵衛

「イヤさういふならばわ
らばらばらと都合のい

「イヤさういふならばわ
らばらばらと都合のい

貸地 廣告

平町郡役所より税務署附近の新開地
に一千餘坪の貸地があります、然
も完全な土盛でありますから流失其
他の憂ひ絶對になく商店、諸工場
並に高級の住宅地として最も適地
を極く安値にお貸しいたします
御希望の方は電話なり或は社員がた伺ひし
て親しく御相談に應じます

小名濱商事株式會社

平出 張所
電話 六〇三番
五四番

片濱自動車運轉

平、高久、豊間、江名
一丁目小川屋、四丁目泉屋
新川町松崎硝子店、月見町白土屋
月見町二二三番、江名山口屋
電話：二一七番（三人以上は
電話：一四二番）に上致し
平町四丁目和泉屋旅館前
木鈴 片濱自動車會

直 草野染工場

一等金賞受賞
草野染工場
電話 八四三番

和洋銅鐵 釜屋商店

諸橋久太郎
電話 九番 一三九番
振替貯口金座東京二〇九五六番
確實敏捷は 生命なり

磐城共濟病院

五月十日ヨリ診療開始
院長 難波 睦
主任 醫學博士 難波 睦
入院自炊 磐城共濟病院
ノ便アリ 城共濟病院
看護婦募集 平町 電話六四一番

松村村病院

皮膚病 淋病 婦人病 専門科
電話 七〇

丸三森川組

設計監督
丸三森川組
熱海 温泉 株式會社
東京丸ビル三七八

山崎合名會社

福島縣平町
電話 一〇七番
振替東京一九七五五番
上野車坂町四三
東京支店
電話 下谷五七三番
振替東京六八三三三番

磐城病院

内科 外科 婦人科
小兒科 花柳病科
入院隨時 (電話一四番)

蜂ブドウ酒

品質本位 美味 消化 滋養 補力
健康への一杯!
賓客への一杯!

青麻山 中風靈藥

定價一週分九〇 二週分一七〇 三週分二五〇
動脈硬化症、腦溢血、半身不隨、言語難澁、其の他中
風より起れる諸症に偉効を奏す
是非御試用を勸む
平町五丁目角
代理店 山野邊藥局

六神胃腸藥

胃腸藥
六神胃腸藥

蜂ブドウ酒

品質本位 美味 消化 滋養 補力
健康への一杯!
賓客への一杯!